

## 語釈：インターネット Twitter 上でみる Trump 米大統領の英語 (26)

### (A Basic Way of Reading Trump-Language)

後 藤 寛

Trump 大統領は確かに公約は守ろうとするが(He will certainly do what he said he would do.)、特に 2018 年 11 月の中間選挙後から昨年の 2019 年にかけての彼の tweets は、メキシコ国境の壁建設問題を取り上げるものが多数を占めた。やはりこれは来たる 11 月(来月)の再選へ向けても、彼がどうしても解決したい懸案であった。

しかし、新型コロナウイルス禍、それにともなう経済活動の停滞、白人警察官による黒人男性暴行死で「BLM (Black Lives Matter) 運動」が起き国内の治安が乱れ、Trump 大統領は Law & Order ! (法と秩序!) の文言を掲げ治安維持を訴えた。ウイルス対策上での郵便投票(mail-in voting)を含め彼にとっては何かと番狂わせの事態となり目下、各地での集会で大統領選での自分の支持者集めに躍起になっている。Your days are numbered. (お前はもう終わりだ) という思いの反支持者も多くなっている。なお、corona (コロナ・光冠) は「穀物の受粉核(芯)」を原義とする語で、印欧祖語の語根 PIE etymon の形態言素形(morphoglosseme : MG)／形態音素形(morphophoneme : MP) は /KER/ とされている〔拙著(2016)「松柏社」、第二部、例(14)参照〕。

昨年 1 月末に彼は tweet で新たな標語(slogan)を提示した。それをまず次の(1)で見える。(2)はこれとの関連で、彼の大統領としての一期目半分の 2 年間の総括的な思いとともに、すでにこの時点(昨年 1 月末)で次の 2 期目(5 年目)へ向けての意思を示している tweet であった。これを確認してみる。

(1) BUILD A WALL & CRIME WILL FALL ! This is the new theme, for two years until the wall is finished (under construction now), of the Republican Party. Use it and pray ! (January 23, 2019)

▲最初の下線の文中の語はすべて一音節語で、強・弱・強・弱・強・弱・強となりリズムカルであるとともに、[wɔ:l]と[fɔ:l]が韻(rhyme)を踏んでいて大変良い標語である。「(メキシコ国境の)壁を造れ、そうすれば犯罪はなくなる!壁建設が終わるまでの2年間、これが共和党の新たなスローガンだ、これを用い祈れ!」と言っている内容である。

ただ、これが発話で[bɪld'əwɔ:l'ənðəkraim'wɔlfɔ:l]のように音声化されると、日本語民族の聴覚では各音節の末尾子音[lɪ], [l], [m]と母音[ə]の聴取(hearing)が難しくなる。ネイティブが難なく明快に聴こえる[l]と[r]の違いと同じように、日本生まれの、日本育ちの、日本人の聴覚では生の音環境で[θ], [ð]なども一般には事実上いい加減にしか聴取はできないだろう。特にここでは[bɪldə]の[lɪ]の後ろの弱音が[ə]か[ðə]かの識別も場合により難しくもなる。ただし、弱音でも&の[ən(d)]は接続詞 and として、大抵は聴取できる。

上で rhyme (韻)と言ったが、この語は原義が「流れること」で Basic 語 **rhythm** など、un-Basic 語 arrhythmia {ar (= not) + rhythmia} (不整脈)などと同系であることを付け加えておく。また、ドイツとオランダを流れ北海に注ぐ the Rhine (ライン川)などもこれと同系の関係にある〔拙著(2016)「松柏社」、第二部、例(25)参照〕。

第2文で下線とした of の文中でのつながりを早く見抜く必要がある。特にこれがやは

り発話されたものと想定すると本連載(24)の(1)で言ったが、挿入節との絡みから listening で意味を把握する際にはぐれる。この of は前の theme と結合し、the new theme of ... となる。この場合 of を[əv]ではなく[ɒv]と強音化させると明確になりよからう。統語法(syntax)的には、こういう**挿入句・節 (parenthesis) の用いられる文に慣れる**とよい。**そういう文ばかりを集めた文例の集中的な reading**が手早い。

下線語 use を用いての命令形 Use it! を、Basic で Make use of it! というのは迂言的となる。命令形は一種の叫び(cry)でもあり、Stop! は Basic の範疇に入るが、Stop it! は文となり Basic ではないので、Put a stop to it! などと迂言的に言うことになる。しかしこれはしばしば不便でもあり、やはり Wider Basic (拡張 Basic) [仮称]を設定し、命令形では動詞 V としてそのまま用いることも許容する<規則>(rule)を特別に1つ設定するとよい。Basic の最前線に立って考える Wider Basicでは、C.K. Ogden 選定の Basic 語を意味的に無理のない範囲内で目いっぱい使い方(use)を拡張するわけである。

その点ではこの tweet の文頭での build もそうである。Basic では、たとえば learning → learner / teaching → teacher / reading → reader / fixed → fixing, fixer / mixed → mixing, mixer などと-ing, -ed 接辞をすり替えて派生語とするわけであるが、同様に building → builder ばかりでなく、基になる building から-ing を取るだけで build そのものを命令形として用いてもよいことにすればよい。いずれにせよ、迂言的な言い方ばかりでなく、1語での命令の言い方の併用を Wider Basic として許容するわけである。

(2) After all that I have done for the Military, our great Veterans, Judges [99], Justices [2], Tax & Regulation Cuts, the Economy, Energy, Trade & MUCH MORE, does anybody really think I won't build the Wall? Done more in first two years than any President! MAKE AMERICA GREAT AGAIN! (January 27, 2019)

▲軍隊、退役軍人の処遇、判事[99名]と最高裁判事[2名]の任命、減税と規制削減、経済、エネルギー、貿易など多問題を処理したが、壁建設はしないとでも思うのか? 1期目2年間でどの大統領よりも成果をあげた! MAGA! だ、という内容である。

上の(1)と同じようにこの(2)も発話された音声言語としてみた場合、統語的にすんなり理解できるかである。第一文は途中から疑問文となる。(1)も(2)も理解度を試すのに**音(sound)で聴き意味的区切れ目を見抜きつつ、一言一句書き起こしていく書写(トランスクリプション: transcription)**による方法があるが、正字法(orthography)、句読法(punctuation)などを含め、全体的に文が正しく書き起こせれば意味も理解できているはずとなる。合わせて**意味内容**を、本連載(22)～(25)で示唆した **i) ABOUT, ii) BECAUSE, iii) PLEASE** の3つに分けた形で日本語で書くのもよい。なお、**音声データの transcription では基本的には聴取した sound を書き起こすのであり、声の抑揚の intonation を書き起こすのではない**わけで、よく聞こえる intonation は聴取上で特に問題ない。いずれにせよ、こういう文の思考型をみずから内在化(internalize)させるには何度も唱えるのである。黙読でもよいが、音感を意識したリズムカルな速読(rapid reading)である必要がある。

(1)のスローガン中での WALL の冠詞が A、(2)では下線で示した the である。違いを感知しておきたい。また、in first two years の first の前が略式で無冠詞(ゼロ冠詞φ)。

.....  
**試問** 次の1. は上の(1)で見た tweet 文に関し、また2. はこれまで本連載ですでに扱った語も含むが試問の形にしてみる。

1. 冠詞をすべて削除した。文中の4箇所に a または theを入れて正しい文にしたい。  
どこにそれが入るか（文中に△印を記し、その上に記入）。

BUILD WALL & CRIME WILL FALL! This is new theme, for two years until wall is finished (under construction now), of Republican Party. Use it and pray!

2. Basic 語 **wall, crime** と各々、同系でない Basic 語（1つ）はどれか。

a) wall : [ **development, walk, war, wheel** ]

b) crime : [ **credit, curve, secret, secretary** ]

<解説>

1. 文頭の標語（スローガン）は、語数削減の掲示表現としては WALL の前はゼロ冠詞（φ）ともなる。wall はこの場合「これから造られる未完成の壁」のこと。ただし、Trump 大統領は上の(1)の tweet の翌日に次の cf.に示すものを投稿した。BUILD なら実際には A WALL も THE WALL も起こる（cf. FINISH なら THE WALL となる）。微妙なニュアンスの差で、次回も扱う。

cf. Without a Wall there cannot be safety and security at the Border or for the U.S.A.  
BUILD THE WALL & CRIME WILL FALL! (January 24, 2019)

これに対し1分後に THE WALL IS DEAD — FEED THE FEDS! という皮肉的な返信をした人がいたが、やはり韻律的で興味深い。ネイティブの英語力、語感力を感じる。意味は「壁は死んだ — 連邦政府を生かせ!」となるが、連邦政府機関の一部閉鎖問題と関わる。この時点では閉鎖は1カ月間つづいていたが、その後に Trump 大統領が譲歩し一時、閉鎖解除とはなった。

crime はこの場合「ある種(a sort of)」のものでもないし、「特定(this, these, that, those)」のものでもない、一般的で抽象概念としての「犯罪」の意味。また、the new theme を a new theme とすると、これまでも他にあったものとなるが、ここでは初めての特定なもので、意味も強まる。until の後ろの wall は旧情報となり、特定化される。under construction（建設中）のように、熟しきったイディオムではゼロ冠詞（φ）。政党名は、もちろん明確な定性の意味をもつ。

2. a) wall は本連載(23)の(2)、本連載(4)の③参照。 b) crime は本連載(25)の(1)、本連載(7)の①参照。

|    |                   |           |          |
|----|-------------------|-----------|----------|
| 正解 | 1. 上の tweet (1)参照 | 2. a) war | b) curve |
|----|-------------------|-----------|----------|